

科目名 (科目番号)	小児看護学概論 (時間割参照)	教員名	野田智子 埴恵子	学科等	看護	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	授業開始時に提示	
授業概要	昨今の社会環境の変化は、子どもと家族にも影響を与えている。そこで、子どもにとっての環境の意味・社会状況の変化などを学ぶことを通して、子どもの健全な成長発達と健康増進のための小児看護の役割・機能について理解する。同時に、生涯発達からみた小児期の各発達段階にある子どもの形態的、機能的、精神・社会的な特徴および発達課題を学習し、さまざまな健康レベルにある子どもと家族への看護につなげていく。							
目的・目標	目的:小児看護学の基礎となる子供の成長発達について学び、子どもと家族を支える小児看護の役割や課題について理解する。 目標:①子どもの権利や小児看護倫理、また、現代の子どもと家族の特徴と社会環境の変化について理解する。 ②各発達段階にある子供の形態的、機能的、精神・社会的な特徴及び発達課題について理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	小児看護の理念と対象	到達目標:小児看護の特徴と目指すところについて理解する。 学習内容:子ども観や小児医療・小児看護の変遷および小児看護の対象について学習する。					
	2	子どもの権利と小児看護の倫理的配慮	到達目標:小児看護実践と『子どもの人権』との関連を理解する。 学習内容:子どもの権利の歴史的変遷と小児看護領域での子どもの人権について学習する。					
	3	小児の成長発達と生活総論	到達目標:子どもの成長・発達の基本的特性と小児看護で用いられる理論が理解できる。 学習内容:小児の成長発達に関する用語、一般的原則、発達に関わる理論を学習する。					
	4	小児の成長発達と生活新生児	到達目標:出生時の形態的生理的特徴と日常生活の援助について理解する。 学習内容:出生時の一般的形態的特徴、新生児の身体生理的適応過程について学習する。					
	5	小児の成長発達と生活乳児①	到達目標:乳児期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容:乳児期の形態的成長・身体生理、機能別発達(感覚、運動、知的、情緒・社会) 日常生活援助、離乳の目的や進め方、乳児期の死亡の原因と一般的健康問題と					
	6	小児の成長発達と生活乳児②	到達目標:乳児期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容:乳児期の日常生活援助、離乳の目的や進め方、乳児期の死亡の原因と一般的健康問題とその支援について学習する。					
	7	小児の成長発達と生活乳児③	到達目標:乳児期の日常生活についての援助技術を習得する。 学習内容:乳児期の日常生活の世話として、抱き方、衣類の着脱方法、人工栄養の調乳、離乳食の作成と試食を実際に行う。					
	8	小児の成長発達と生活幼児①	到達目標:幼児期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容:幼児期の形態的成長・身体生理について学習する。					
	9	小児の成長発達と生活幼児②	到達目標:幼児期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容:幼児期の機能別発達(感覚、運動、知的、情緒・社会)、幼児食、日常生活の自立と世話について学習する。					
	10	小児の成長発達と生活幼児③	到達目標:幼児期の健康問題と看護について理解する。 学習内容:幼児期の予防接種・感染予防対策、一般的健康問題とその支援について学習する。					
	11	小児の成長発達と評価①	到達目標:乳幼児期の身体発育の評価を理解する。 学習内容:標準値や指数を用いた形態的発達の評価を学習する。					
	12	小児の成長発達と評価②	到達目標:乳幼児期の心理社会的発達の評価を理解する。 学習内容:発達検査尺度を用いて社会心理的発達の評価を学習する。					
	13	小児の成長発達と生活学童・思春期	到達目標:学童期・思春期の成長・発達と看護について理解する。 学習内容:学童期および思春期の形態的成長・身体生理、機能別の発達(感覚、運動、知的、情緒・社会)、健康問題について学習する。					
	14	小児の成長発達と評価③	到達目標:学童期・思春期の身体発育や心理社会的発達の評価を理解する。 学習内容:標準値や指数を用いた形態的発達の評価、および社会心理的発達の評価を学習する。					
	15	子どもと親を支援するための法律・施策	到達目標:小児看護に活用できる法律・施策が説明できる。 学習内容:小児の福祉や保健に関連した各種法律・施策や少子化対策について学習する。					
成績評価の方法・基準	試験(60%)、提出課題(40%)にて評価する。正当な理由がなく本試験を欠席した場合は、再試験を実施しません。							
教科書	ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1) 小児の発達と看護 第7版		中野 綾美 編			メディカ出版		
参考図書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学1		奈良間美保 丸光恵 他			医学書院		
教員からのメッセージ	小児の発達については、視聴覚教材や、学生の皆さん自身の場合との比較を通じて、具体的にイメージできるよう授業を展開していきます。小児病棟や教育施設で勤務した看護師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							